

※この様式1は黒色のペンを使用し、手書きの日本語で記入して下さい。(鉛筆は不可)
※本人以外の代筆は認めません。

様式1

第44回(平成30年度)
岩谷国際留学生奨学助成
申込書

平成 29 年 12 月 日

公益財団法人 岩谷直治記念財団 御中

「第44回(平成30年度)岩谷国際留学生奨学助成募集要項」に従い、
奨学金を受けたく申し込みます。
申込書および添付書類等の記載内容は、事実に相違ありません。

写真貼付欄

- ・3ヶ月以内に撮影した上半身正面の近影
- ・縦5.0×横3.5cm
- ・裏面に記名してから貼付すること

氏名
(母国語表記)

氏名
(英字表記)

氏名
(カタカナ)

性別 男 ・ 女

国・地域名 生年月日 年 月 日 歳

携帯電話 E-mail 配偶者 有 ・ 無

現住所 〒 住所
(最寄駅) 線 駅 (駅から自宅まで、バス / 徒歩で 分)

平成29年12月(応募時)に在籍中の大学・大学院 (入学年月 : 年 月)
(学部生はこちら↓に記入)

大学 学部 科 年
(大学院生はこちら↓に記入) (どちらかに○印↓)

大学.....院 専攻 修士課程(博士前期) 年
科 博士課程(博士後期)

平成30年4月(来春)以降の在籍予定 私は、(下記大学院に合格済)/(下記課程に進学予定)です(○印)

大学.....院 専攻 修士課程(博士前期) 年
科 博士課程(博士後期)

大学所在地 〒 住所 電話

指導教官 役職 氏名 研究室名 内線

平成29年12月(応募時)の奨学金 受給状況について (受給していない場合は、「無し」と記入して下さい。)

奨学団体名 受給期間 年 月 ~ 年 月

他の奨学金への応募状況について (予定も含め記入。他の団体に応募していない場合は、「無し」と記入して下さい。)

奨学団体名

日本語による会話能力の自己評価について (あてはまるレベルに○印を付けて下さい。)

poor ←----- 日常会話可 -----> excellent
1 2 3 4 5

署名
(母国語でサイン)

※この様式2はパソコン入力も可能ですが、書式は変更しないで下さい。

様式2

経 歴 書

平成 29 年 月 日 現在

氏 名

来日した年 年 月

(日本での滞在年月 年 月)

1. 学 歴 (高校から現在までの学歴を記入)

学校区分	学校名・所在地(国・都市名) (例) ○○○○高校 (例) 中国 大連市		入学・卒業年月	専攻科目	取得学位 又は資格
高校	学校名		入学 年 月		
	所在地		卒業 年 月		
高等専門 学校	学校名		入学 年 月		
	所在地		卒業 年 月		
日本語 語学学校等	学校名		入学 年 月		
	所在地		卒業 年 月		
大学	学校名		入学 年 月		
	所在地		卒業 年 月		
大学院 修士課程 (博士前期)	学校名		入学 年 月		
	所在地		修了 年 月		
大学院 博士課程 (博士後期)	学校名		入学 年 月		
	所在地		修了 年 月		

備考: 補足説明等があれば、記入して下さい。

2. 職 歴 (学業と並行したアルバイトの職歴は記入不要)

	勤務先・所在地(国・都市名) (例) ○○○○株式会社 (例) 日本 大阪市		勤務期間	勤務内容	役職名
1	勤務先		年 月		
	所在地		～年 月		
2	勤務先		年 月		
	所在地		～年 月		

備考: 補足説明等があれば、記入して下さい。

※この様式3はパソコン入力も可能ですが、書式は変更しないで下さい。

様式3

身 上 書

平成 29 年 月 日 現在

氏 名

母国住所(帰省先)

1. 経済状況

最近1年間の収入額と支出額を平均し、1ヶ月相当分を記入して下さい。

1) 1ヶ月の平均収入額

(該当するものに○印↓)

- | | | |
|-------------|-----|--------------------------------|
| ① 家族からの仕送り | 円/月 | 送金者： 父親 / 母親 / その他(記入): |
| ② 奨学金(本人) | 円/月 | 名 称： |
| ③ 給与(アルバイト) | 円/月 | 内 容： RA / TA / その他(記入): |
| ④ 自分の預貯金を使用 | 円/月 | |
| ⑤ その他 | 円/月 | 内 容： 配偶者給与 / 配偶者奨学金 / 借金 / その他 |
| 収入額合計 (a) | 円/月 | 上記の詳細(記入): |

2) 1ヶ月の平均支出額

(該当するものに○印↓)

- | | | |
|---------------|-----|--------------------------------|
| ① 家賃 | 円/月 | 住 居： 学生寮 / アパート / その他: |
| ② 学費(自分が払う金額) | 円/月 | 学費免除: 全額免除 / 一部免除 / 免除なし |
| | | 免除期間: 年 月～ 年 月 |
| ③ 食費 | 円/月 | |
| ④ その他生活費 | 円/月 | 生 活 費： 電気・ガス・水道・携帯・交通費・図書費等の合計 |
| 支出額合計 (b) | 円/月 | |

3) 収支差額 (a-b) 円/月

2. 家族状況

(両親・兄弟姉妹を記入して下さい。既婚者は配偶者・子女も記入して下さい。)

続柄	家族の氏名	年齢	現住所(国・都市名)	職業名(学生は学校名)

3. 特記事項

(収入の減少予定、支出の増加予定、宗教上の制約等、伝えておきたいことがあれば記入して下さい。)

※この様式4はパソコン入力も可能です。

様式4

※各項目の行数、フォント等は必要に応じて変更できますが、枚数は A4サイズ縦で2枚以内 とします。

研究計画書

平成 29 年 月 日 現在

氏名 _____

1. あなたの研究課題について、簡潔に説明して下さい。

2. 今後1～2年間の研究計画と、目標とする研究成果について説明して下さい。

(1年目)

(2年目)

3. あなたが発表した論文を全て記載して下さい。(査読付き(refereed)の場合はその旨を記入)

4. 学位を取得した後は、どのような進路を予定していますか？(修士の場合、進学の場合は？)

5. あなたは今後、母国と日本との交流に、どのように関わっていきたいと考えていますか？

6. その他(意見、感想など)

推薦教官各位：1. 推薦教官ご自身でご記入いただき、捺印・厳封の上、「親展」にて応募者経由でご提出下さい。 様式5
2. 全ての質問項目を満たしていれば、書式を変更しても結構です。他言語の場合は和訳を添付して下さい。

推 薦 状

作成日 年 月 日

応募者の所属：

氏名：

私は上記の学生を貴財団の奨学助成対象者として以下の通り推薦いたします。

1. 研究能力について

2. 研究への取り組み姿勢について

3. 学位取得・修了の見込み及び将来性について

4. 人物像について

5. 日本語の語学力について(当財団でのコミュニケーション言語は日本語です)

6. その他、特記事項

推薦教官のご所属(大学・高専名/研究科名/学科名)

お役職

お名前

印

連絡先住所

電話番号

(内線)

E-mail

※応募者本人の進学等の事情により入学先での指導期間が短い場合は、従前の指導教官による推薦を認めます。

※指導教官には連絡を取らせていただく場合がございます。連絡先のご記入漏れが無いようにお願いいたします。